

(リスクアセスメント) ファルコン 作業手順書

会社名	中日本ハイエイメン名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	平成24年4月26日	2tトラック、3tダンプ、3tトラック	コンプレッサー、ブレーカー、チップパー エンジンカッター、エアークッター ガスバーナー、ガス鋺、左官鋺、一輪車	保護メガネ、皮手袋(推奨)、安全靴、安全チョッキ 防護ネット、消火器、耳栓	FCプライマー、ファルコン、石灰
改訂日	平成31年4月19日				
作成者	脇田 恭輔				
必要資格等	運転免許、中型免許、職長教育講習、振動工具			作業人員	5名
備考					その他

可能性	1:ほとんど起きない (5年に1回程度)	2:たまに起きる (1年に1回程度)	3:かなり起きる (6ヶ月に1回程度)	×	重大性	軽微 (不休災害)	重大 (休業災害)	極めて重大 (死亡・障害)	=	評価	対策変更の 必要なし	対策が必要	即座に対策 が必要
	頻度率:1	頻度率:2	頻度率:3			危険度:1	危険度:2	危険度:3			1~2	3~4	5~9

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	評価			危険有害要因低減対策	誰が			評価			参 考 図
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価			
準備作業		・作業前ミーティング												
	1	新規入場者のチェックをする。	現場、施工方法等について十分な知識を有していない。	2	2	4	・新規入場教育の受講。	職長	1	2	2			
	2	健康状態を確認する。	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない。	2	1	2	・体調の確認、アルコールチェックを行う。	職長	1	1	1			
	3	服装、保安用具の点検をする。	自発光チョッキの球切れがある。からまんで一の音が鳴らない。	2	1	2	・全員で点検を実施する。	全員	1	1	1			
	4	機械・工具等の点検をする。	機械、工具が現場にて稼働しない。	2	1	2	・作業前点検を行い、機械、工具の点検をする。	全員	1	1	1			
	5	朝礼、KYミーティングを行う。	漠然と現場に入り事故を起こす。	2	1	2	・KYミーティングにて危険箇所を確認する。	全員	1	1	1			
	6	作業手順の確認をする。	各自の作業が分かかっていなくて、現場で不安全行動を起こす。	3	2	6	・個人の作業内容、作業手順を確認する。	全員	1	2	2			
	7	規制協議書の確認。	協議書通りの規制でない。	2	2	4	・規制作業内容の確認。	全員	1	2	2			
	8	車両点検、荷姿チェックをする。	作業車の積荷、スペアタイヤの落下	2	2	4	・車両点検、荷姿チェックを自主とメンテ職員にて行う。	全員	1	2	2			
	9	埋設協議(埋設物)確認	埋設物切断	3	2	6	・作業前に全員で協議内容、埋設位置等を確認する	全員	1	2	2			
移動		・現場への移動												
	1	交通ルールを守り運転する。	人身、物損事故。	2	2	4	・NEXCOの員であることを自覚して運転する。	運転者	1	2	2			
	2	高速道路に入る前にプレート区域の確認。	プレート区域外使用。	2	1	2	・車両点検時、荷姿チェック時に確認しておく。	全員	1	1	1			
	3	規制進入時は保安員の指示で進入する。	一般車の追突、規制内への誤進入。	3	1	3	・保安員は適切な誘導を行う。	保安員	1	1	1			
	4	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする。	車両が動いて、他のものに接触する。	3	2	6	・うっかり防止君、3点確認プレートの明示。	全員	1	2	2			
	5	規制内での移動。	車両同士の接触。	2	2	4	・車両の移動は必ず保安員の指示に従う。	運転手	1	2	2			
			車両と作業員の接触。	2	2	4	・保安員は運転手から見える場所で誘導を行う。	保安員	1	2	2			
本作業		加熱型補修材料												
	1	適切な保護具の着用。	保護具未装着によるけが。	1	2	2	・適切な保護具の着用確認。	全員	1	2	2			
	2	職長は、安全管理に心がける。	作業員の不安全行動。	1	1	1	・職長は作業より、安全管理・品質管理に留意する。	職長	1	1	1			
	3	作業範囲をマーキングする。	一般通行帯に背を向けて作業を行う。	2	2	4	・万が一の場合の退避場所、方向の確認。	作業員	1	2	2			
	4	マーキング位置にあわせカッターを入れる	切削汚水、切削屑が飛散する。	2	1	2	・工事用掃除機の使用、ネット等により飛散防止を行う。	作業員	2	1	2			
	5	ハツリ作業	ハツリガラ飛散による事故。	3	1	3	・ネット等により飛散防止を確実にする。	全員	2	1	2			
	6	切削面清掃	埃、小石等が飛散する。	2	2	4	・工事用の掃除機、防護ネット等を使用して清掃を行う。	作業員	2	1	2			
	7	プライマー塗布	塗布時に作業箇所以外に飛散し、第三者被害。	2	1	2	・養生を行う。 引火の恐れがあるので、火気厳禁。	作業員	2	1	2			
	8	材料加熱、溶解	溶解時に他のものに引火する	2	2	4	・周囲の確認。 火傷に注意。	作業員	2	1	2			
	9	材料敷き均し	投入時、材料がはねやけどする。	2	2	4	・保護具等の着用、周囲の確認。	作業員	2	1	2			
	10	ガス鋺で表面を敷き均す。	ガス鋺ホースに足を取られ転倒、鋺表面との接触による火傷。	2	2	4	・風向き等を確認しながら散布する。	作業員	2	1	2			
	11	養生後、消石灰を散布。	消石灰が風にあおられて飛散する、	2	2	4	・風向き等を確認しながら散布する。	作業員	2	1	2			
移動		・現場離脱												
	1	清掃	ゴミが目に入る。	2	1	2	・保護具等を使用する。	作業員	1	1	1			
	2	後かたづけ	作業車の荷の落下。	2	2	4	・車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく。	全員	1	2	2			
				2	2	4	・ロープがけは必ず車線と反対側から行う。	全員	1	2	2			
	3	作業車両離脱	一般車両との接触。	2	2	4	・車両の移動は必ず保安員の指示に従う。	運転者	1	2	2			
							・保安員は運転手から見える位置に立つ。	保安員	1	2	2			